



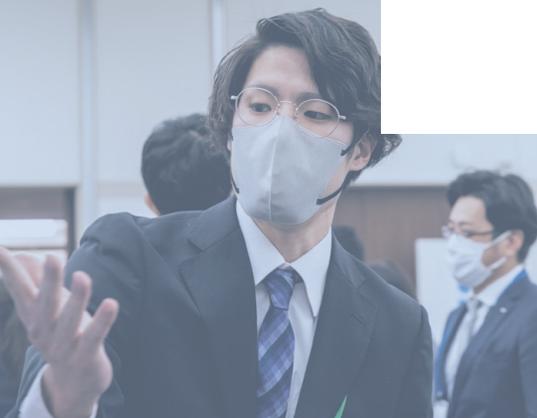
キャリア
これからの自分を創る！

CAREER PATH GUIDE

2023 大学院生のための
キャリアパスガイド



新潟大学 PhD リクルート室



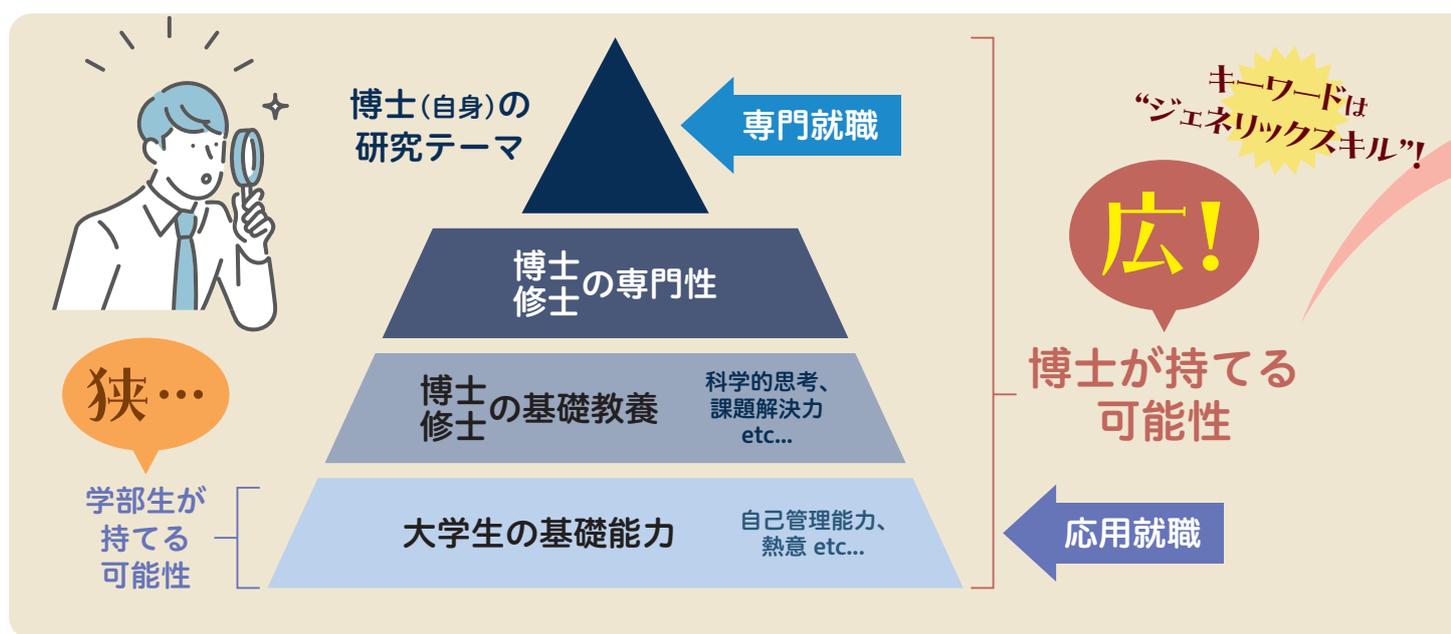
これからのキャリアを考えていますか？

「博士の就職は難しい」…もうそんな時代ではありません！

未来予測が難しい今、企業の成長を支える研究開発分野は非常に重要になっています。これを担い世界で通用する高度な専門人材が博士であり、その存在は必要性を増しています。博士を採用した企業では、採用後「能力・資質が期待を上回った」と回答する企業の割合が学士・修士よりも高いというアンケート結果が出ています。

博士後期課程の学生は、研究に打ち込む時間を十分に確保しながら、将来の挑戦に踏み出せるようなキャリアを自ら考えていかなければなりません。新潟大学では、アカデミアでも産業界でも必要な研究力・ジェネリックスキルを身につけ、キャリアを考えるためのサポート体制が整っています。このパンフレットをぜひご覧ください。

出展：文部科学省科学技術・学術政策研究所、民間企業の研究活動に関する調査報告2020、2021年6月



M1・M2の方

将来の見極め

アカデミア・産業界を問わず、研究開発分野でのキャリアを考えている方は、グローバル化する産業界の動向、博士という学位の重要性をしっかりと情報収集して認識を高めましょう！

博士はアカデミアだけでなく、産業界においても研究開発部門ではグローバルに評価される重要なタイトルです。

D1・D2の方

積極的な活動

D1は時間的にまだ少し余裕がありますので、この間にジェネリックスキルを高め、企業との接点構築をしましょう。D1から接点を深めるとよりよいマッチングが期待できます。D2は通常の定期採用であればまさに就職活動年にあたります。積極的に産業界との接点を構築し相互理解を深めましょう。

D3・PDの方

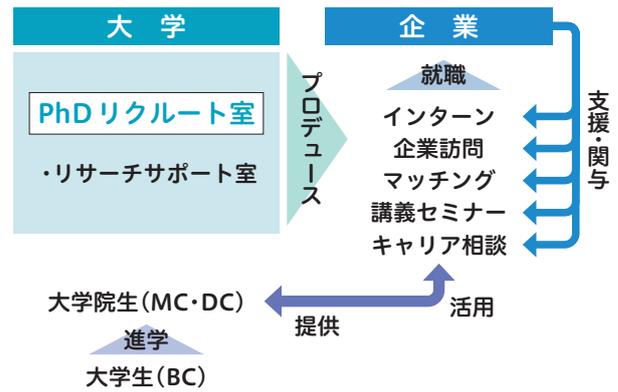
可能性の追求

チャンスはまだ多くあります。焦らずに企業との接点を広げ深めましょう。

また、2022年度より PhD リサーチサポート室を設置しました。研究力の推進やアカデミア進路についても当室で支援していますので、存分にご活用ください。

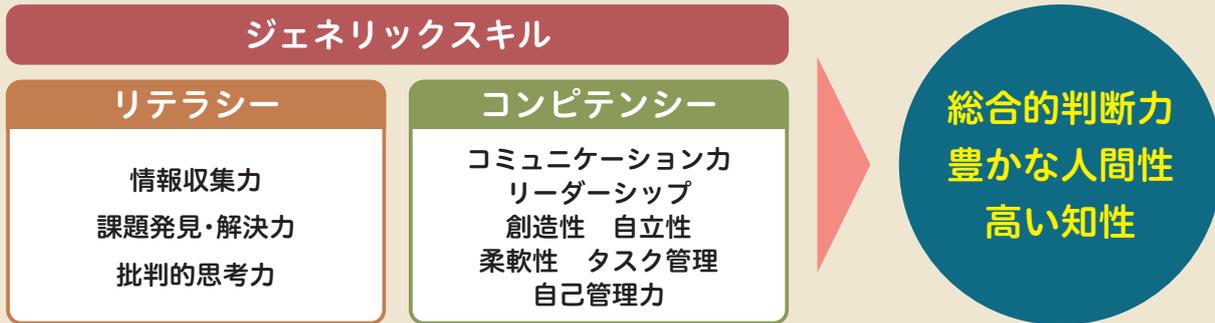
PhDリクルート室での支援

学部生～大学院生を中心に、どんな場面でも専門知識や研究能力を発揮するための“ジェネリックスキル”が獲得できるセミナーを通年開催しています。また、産業界と連携して、企業との接点を作れる参加型マッチングイベント「PhDリクルートフォーラム」やインターンシップなどの機会も提供しています。これらの支援により、博士と企業との情報交換を密に作り、博士修了後のキャリア形成を後押しするのが当室の役割です。新たにリサーチサポート室も設置し、研究力の推進等についてもサポート体制が充実してきました。これらのプログラムの多くは、教職員の皆様も受講可能です！



ジェネリックスキルとは？

トランスファラブル・スキル（転移可能な能力）とも呼ばれる「分野に関わらずさまざまな状況のもとで適用できる高次の能力」のことで、現在では世界的に求められる能力になってきています。将来の予測が困難な現代、博士課程で専門力だけではなく様々なチカラを身に付けていきましょう！



目次

ジェネリックスキルを身に付けて キャリア形成について学ぼう	キャリアマネジメントセミナー ————— 4 ジェネリックスキルセミナー ————— 5
博士取得した若手の先輩や PhDリクルート室教員と一緒に キャリアを考えよう	大学院生のためのキャリアセミナー ————— 6 キャリア相談 ————— 7
企業人や他大学生との交流で 社会への理解を深めよう	PhDリクルートフォーラム ————— 8 企業研究サイトビジット ————— 10 ジョブ型研究インターンシップ ————— 11 コンソーシアム連携活動 ————— 11
充実の支援制度！ 研究室を飛び出して参加しよう	博士支援制度 ————— 12 大学院生間の交流促進 ————— 14

キャリアマネジメントセミナー

博士後期課程学生（DC）や博士研究員（PD）の皆さん、もちろん博士前期課程学生（MC）の方々は大学院や研究室で専門知識を身に付け、研究スキルを磨いていると思います。実は、その深掘りの専門性だけでは世の中に求められる人材になるのは難しいのです。

大学院での研究は基本的に一人で実施することが多いのに対して、企業での研究や開発はほとんどがチームで進みます。そのため、仕事を成果につなげていくためには、チーム内のコミュニケーションやリーダーシップなど研究以外の知識やスキルが必要です。また、企業の研究成果は学術誌への論文発表よりも知的財産権（特許権など）の獲得が優先されます。

このように企業とアカデミアでは手段・手法・優先順位が異なるため、研究以外の知識やスキルも皆さん自身で身に付けていく必要があります。当室ではこのような知識の獲得をお手伝いします。

2023年度は右の16コマを実施予定です！

※対象：MC、DC、PD（BC希望者は聴講可能 ※単位取得不可）

※講演の順序は変更になる場合があります。

※詳細はシラバスをご覧ください！

新潟大学PhDリクルート室		2023年度講義	
キャリアマネジメントセミナー			
タイトル		講師	
企業の種類と分析 <small>BCとDCのキャリア開発の機会を捉え、企業が求める!</small>	1	樋口 直樹 <small>新潟大学PhDリクルート室特別教授</small>	
イノベーション <small>イノベーションって何?イノベーションを促すとは?</small>	2	宗像 基浩 <small>三菱ケミカル大塚研究所所長</small>	
コミュニケーション <small>コミュニケーションとは?</small>	3	福所 しのぶ <small>オリエントエーエム研究所代表</small>	
プレゼンテーション <small>専門知識を大衆人にイメージしやすくするためのプレゼン技法!</small>	4	小林 隆司 <small>物質・材料研究機構 (NIMS) 企業部門広報室長</small>	
知的財産マネジメント <small>企業利益の源泉、知的財産マネジメント</small>	5	藤村 朋子 <small>パトリック・ホールディングス 知的財産部課長</small>	
アントレプレナーシップ <small>企業を起こすとは、スタートアップとはどういうこと?</small>	6	山下 良一 <small>シーズレイザー代表</small>	
新ビジネス創出事例 <small>世に必要とされる新しいビジネスのアイデアを立ち上げる!</small>	7	脇 奈津子 <small>デジタル・ホールディングス未来事業開発部 一歩実践CEO兼CTO</small>	
リーダーシップ <small>リーダーシップとはどんなに必要?マネジメントとは何が違うの?</small>	8	樋口 直樹 <small>新潟大学PhDリクルート室特別教授</small>	
企業の事業戦略 <small>企業の立ち立ちを設計する</small>	9	貞廣 滋 <small>日本電気 (NEC) 事業開発推進統括部長</small>	
技術と事業① <small>ダイセルの中での技術開発人生</small>	10	伊藤 久義 <small>ダイセル・オレフィンズ代表取締役社長</small>	
技術と事業② <small>最先鋭の代表である素材・部材メーカーの実態</small>	11	佐藤 牧子 <small>テックシステム開発本部第一責任者兼GS2チームリーダー</small>	
技術と事業③ <small>データサイエンスの活用はどのような仕事?</small>	12	和田 陽一郎 <small>データフォワード株式会社 副社長兼D4+アカデミー代表取締役社長</small>	
技術と事業④ <small>ノベルな発明につながる研究開発?</small>	13	成田 正晃 <small>小野薬品工業株式会社 経営戦略本部</small>	
技術と事業⑤ <small>最先端技術の活用はどのような仕事?</small>	14	太田 美恵 <small>大正製薬株式会社 薬理化センター 研究開発部長</small>	
技術と事業⑥ <small>ロジックのイノベーション</small>	15	加登 久美子 <small>豊田自動織機主担当員</small>	
技術と事業⑦ <small>最先端技術の活用はどのような仕事?</small>	16	菅沼 大行 <small>カシオ計算機株式会社 エニアメスチャリスト</small>	

interview



自然科学研究科
博士後期課程2年(DC2)

野口 法秀

博士課程と企業での研究はどのように異なるのか？本講義を履修する以前の私はその違いについて全く知りませんでした。そんな中、今後のキャリアを検討する上で企業の方の意見を聞ける貴重な機会だと考え、受講しました。

講義では大手からベンチャー企業まで様々な企業の方からご講演頂きました。

中でも実際に開発から製品化まで経験された方のご講演で基礎研究から製品化までに3つの異なるステージ（障壁）があるというエピソードが印象に残っています。それまで企業の就職先に対して、研究開発も製品開発も同一視していた私にとって具体的な差異を学ぶ数少ない機会になりました。

さらに講義では毎回異なるテーマを取り扱っており、同じ内容に終始することがないため毎回新たな発見が得られました。結果として企業の就職も魅力的な選択肢と思わせてくれる講義だったと思います。

受講者の声

■修士

- これから就活するにあたり、自分一人では絶対に気付くことができない情報をいただきとてもためになりました。
- ギリギリまで履修しようか悩んでいましたが、就活の為に役立つ情報が沢山あり履修して正解だったと思いました。
- 修士に進めば自分の研究開発職に就きたいという目標を達成できると思っていたのですが、博士でないと入れない企業もあることを知りました。
- 諦めずに挑戦する。失敗は過ちではない。すごく心に響くものがありました。

■博士

- これまではアカデミアの研究職のみを目指してきており、就職活動などを全くしてこなかったため、内容の全てが新鮮で面白かったです。
- 若いうちにチャレンジする癖をつけた方がよい、という言葉に「チャレンジしない思考」になってしまうのを防ぐために、というニュアンスを感じ印象的でした。
- 専門性を身に付けたいと思い博士後期課程へ進学しましたが、本日の講義を受けて自身の研究テーマの枠にとどまらず、具体的に最終的なゴールを持って研究していきたいと改めて感じることができました。

ジェネリックスキルセミナー

キャリアマネジメントセミナーよりさらに実践的な能力を身に付けるための“ジェネリックスキルセミナー”。講義形式で聞くだけでなく、演習も交えてスキルを獲得できるコンテンツです。就職活動などが本格化する前に素質を高め、漠然とした不安を払拭していきましょう！

1) ビジネスマナー

●2023/7/13(木) ●12月開催(予定)

講師
人材育成コンサルタント
高原 温子

企業との直接的な接点を持つ場合（訪問や面談など）には直接/間接（Webなど）に関係なく、基本的な社会人としてのマナーが要求されます。社会人としての常識を身に付けておきましょう。



2) 交渉学

●2023/6/7(水)開催

講師
東京富士大学教授
隅田 浩司

社会人になれば仕事上でもプライベートでも交渉によって物事を解決する場面に多く遭遇します。喧嘩するのではなく双方が納得する交渉をするためには、事前の調査、獲得目標の幅、交渉決裂時の対応など多くの準備や心構えが必要です。しなやかな対話力を身に付けましょう。



3) プロジェクトファシリテーション

●2023/6/22(木)開催

講師
古河電気工業株式会社
戦略本部主席 BPR
関 尚弘

社会に出ると仕事は一人ではなくチームですることがほとんどになります。その場合リーダーシップ等の能力が必要となりますが、プロジェクトを推進するためにはファシリテーターの役割が重要です。



interview



自然科学研究科
博士後期課程3年(DC3)
佐藤 晴耕

交渉についてこれまで深く考えたことが無かった私にとって、今回の「売る側」と「買う側」に分かれ実際に行った交渉の演習は、とても新鮮であり難しかったです。その演習では、「売る側」と「買う側」に与えられた設定をもとに美術品の売買を行いました。私のペアでは、値段の妥協案をお互い探りながら、どうにか結論に至りましたが、別のペアではお互い譲らず結論に至っていませんでした。同じ設定が与えられたにも関わらず、それぞれのペアでは全く異なる交渉が行われていたのです。まさに、人それぞれの性格や考え方といった個性が、交渉という場で露わになることを実感しました。

私の専攻する物理学では、複数の実験結果や理論から一つの結論に行きつくことが多いのですが、今回の交渉学の演習はそれとはまったく逆のように思えました。また交渉では、相手の情報や考えを聞き出すことで相手にとって良い状況を提示しつつ、自分の意見を通す話の流れを違和感なく作り出す難しさを痛感しました。交渉学セミナーで得た対話力をさらに伸ばし、物事の解決に繋げていこうと思います。

interview



自然科学研究科
博士後期課程1年(DC1)
ENKHBAATAR Misheel

「プロジェクトファシリテーション」というセミナー開催についてお知らせが届いた時、企業で取り組まれている大きなプロジェクトの運営などに関する事だと想像していました。そして、自分は将来に何かプロジェクトを管理することがあるだろうかこれから数年後のことを考え、本セミナーを聴講しました。正直、セミナーのプログラムは4時間の予定だったので長い時間熱中して聞けるかなという不安もありました。

当日実際に参加してみると、開始からグループワークと身体や頭を動かすインタラクティブなセミナーで講演者も話している内容も面白くて、様々なことを学習できました。本セミナーではプロジェクトの流れについての理解が深まり、ファシリテーションの役割を体験しました。そしてセミナーで学んだことはこれから何年後に役に立つのではなく、すぐ自分が参加するミーティングなどでファシリテーションの手法を活用し、より短期で結論にたどり着くことができるようになりました。

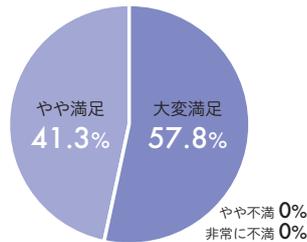
大学院生のためのキャリアセミナー

本セミナーは博士課程で学位取得後、産業界またはアカデミアで自身のキャリアを構築している先輩たちを招き、キャリア選択の事例を聞くとともにそれに至る葛藤や決断など、皆さんが最も気になる部分の情報を提供します。学位取得の過程と進路を決めたきっかけ、準備したこと、そのためのプロセスなど、調べるだけでは得られない生の声を収集するいい機会です。また、産業界とアカデミアの違いなど、現在の実務的な環境に関してもお話を聞くことができます。

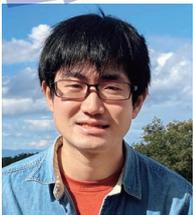
2022年度アンケート結果

- キャリアパスが非常に具体的で分かりやすく、それぞれの価値観や考え方を学ぶことができました。
- 様々な過程を経た方の話を聞くことができ、博士課程をより身近に感じることができました。
- 講演者自身の真実性がある経験を聞き、自分が進路を選択する際の参考になりました。
- 様々な業界で活躍されている方の話を聞くことで自分の将来の進路の幅が広がりました。

Q. 本セミナーの満足度をお聞かせください(N=46)



interview



自然科学研究科
博士後期課程
1年(DC1)

長田 大河

大学院生になると、誰しも将来、アカデミックに残るか、産業界に出るかなど進路で迷うことが多いと思います。現在、博士後期課程一年の私もその一人で、どの選択肢が自分にとって良い選択肢となるのかを模索しています。そんな中参加した本セミナーにおいて、博士号を取得した後に、産業界に出た先輩方の話や経験を聞くことができ、非常に参考になりました。普段、自分の研究室の先輩、それも現在のメンバーにしか話を聞くことができていなかったのが、本セミナーは貴重な機会となりました。アカデミックと産業界の違いや、どのような思考で進路選択をしたか、現在の職場状況など、リアルな聞きたい話が多く、進路選択に悩む大学院生に非常に役に立つと思います。アカデミックに残ると決めている学生にとっても、自分自身の視野を広げるための機会として参加するのも良いと思います。また、修士・学部生の方についても、博士に進学する興味がある方は、博士課程に進学した後の進路を知る貴重な機会となるので参加をお勧めします。

message



新潟大学大学院
自然科学研究科2020年度修了
博士(理学)
株式会社 ARISE analytics

奥井 恒

私は、新潟大学で学士・修士・博士を取得した後、現在はARISE analyticsという会社で働いています。研究が楽しく博士まで進み、悩んだ末に、今の会社で働くことを選択しました。様々な立場の方とのコミュニケーションで得た経験や意見を通し、進路を決断しました。最終的には、研究者として生きる道に魅力を感じつつも、新しい分野でより自分が成長できる環境で挑戦したいと思い、今の会社に就職することを決めました。

自分の学生生活を振り返ると、挑戦してきたからこそ得られた経験が多かったように思います。研究生活で培った探求力、仮説検証、議論、プレゼンテーションなどといった能力・スキルは、就職活動でも評価されましたし、実際に働いている中でも生きる場面は多いと感じています。就職・進学など悩むことは多いと思いますが、一方で大学・大学院でしか経験できないこともまた多いです。悩みながらも積極的に行動し、学生生活を送ってほしいと思います。

message



新潟大学大学院
自然科学研究科2020年度修了
博士(工学)
日本電信電話株式会社

谷口 諒太郎

私が皆さんに本当に考えていただきたいことは、将来皆さんが何を成し遂げたいのか、何になりたいのか、つまりは自身の未来像は何か、ということです。博士に進学するかどうかが、アカデミアと産業界のどちらに進むかどうかを考えることも重要ではありますが、それは皆さんにとって真に重要な事例ではありません。自身の未来像が明確ならば、その思い描く未来を目指すための進路はおのずと見えてくるはずです。一方で、自身の未来像が不明確なまま進路を決定してしまうと、後に進路を変更する際に多くの時間とコストを要します。基礎研究をしたいのか、製品開発をしたいのか、エンジニアになりたいのか、地元の工房で技術を守りたいのか、日本で安定した職に就きたいのか、世界で活躍したいのか、自分の目指す未来像を明確化し、そこに到達するために必要な進路を選ぶことが、皆さんの夢を達成するための近道です。

キャリア相談 博士学生・博士進学を目指す学生

博士学生（DC）・研究員（PD）の就職活動は、修士（MC）までと異なり通年行えるのが特徴のひとつです。つまり、いわゆる“就活時期”に限らず情報収集や自己分析、そしてエントリーが必要です。活動の時期や方法がバラバラなことで悩まされるDCの就活を支えます。キャリア相談を活用し、研究と就活の両立を目指しましょう。

また、就活関連のみならず、進学・アカデミア進出を含めた広範なキャリア構築もお手伝いしています。当室のキャリア相談は通年行っていますので、お気軽にご相談・周囲の学生の方へもご紹介ください。



1. 博士人材が抱える個別の状況や事情の相談を受けます
2. 獲得したスキルを活かす進路を一緒に考えます
3. 博士人材を要望している企業との接点を作り上げます

interview



自然科学研究科
博士後期課程 2年(DC2)

加世堂 竜太郎

私は今後のキャリア選択をアカデミアにするか、企業にするかで悩んでいました。選択のためには様々な意見を集約することが必要であると考え、PhDリクルート室の樋口先生に相談しました。樋口先生から、企業で研究者を目指すメリットやご自身の経験を聞かせていただき、今まで自分が知らなかった世界を知りました。特に、企業に就職した後でアカデミアを目指すことが可能であることはキャリア選択の幅が広がるお話でした。加えて、NTT研究所のエントリーシートも添削していただきました。その際の樋口先生のご対応はとても迅速でした。また、的確なご指摘をいただくこともできました。そのおかげもあり、エントリーシートは通過しました。最後に、企業への就職活動はアカデミアの募集の時期よりも早いいため、選択の幅を狭めずに情報を積極的に集めていくことの重要性をお伝えしたいです。そのためにPhDリクルート室を活用することも一つの有意義な選択であると思います。

interview



医歯学総合研究科
博士後期課程 3年(DC3)

FERREIRA Efrem d'Avila

就職面接の質問練習のため、Zoomのミーティングをお願いしました。Zoomで自己PRの練習をし、そして質問例が載っている会社のホームページ等も教えていただきました。実際の面接では、日本語を話すのが少し難しかったですが、上達できるよう勉強しています。近々、どのような能力を身につけることが重要か等、キャリアについても相談したいと思います。

I requested a Zoom meeting with Phd recruit office in order to practice job interview questions, since I had an upcoming interview with a Japanese company. During the meeting, I practiced self-introduction and also received a link to the company's website that provided sample questions. In the actual interview with the company, it was a little difficult to speak Japanese, but I am studying to improve. I would like to further discuss my career with you soon. For example, what skills or qualifications are good to acquire for job hunting in Japan.

Thank you.

PhD リクルートフォーラム

企業を知るためには色々な方法がありますが、博士人材・企業人のお互いにとって効果的なのは、直接会って交流することです。当室が提供するマッチングイベント「PhD リクルートフォーラム」は、効率よく交流するために事前にしっかり準備をした選りすぐりの博士人材のみが参加できます。企業としても、専門知識や研究スキルはもとより、「意欲がある社会人としての人格を伴う博士人材」を待ち望んでいます。本年度は、第7回を2023年8月30日（水）、第8回を2023年12月5日（火）に開催を予定しています。

1. 企業が求める博士人材や参画してほしい研究領域など聞くことができる
2. 博士人材自身の研究テーマや研究スキル、人物像そのものをアピールすることができる
3. ブースでの双方向情報交流を実施することでお互いの理解を深めることができる

この場で社風や活躍できる分野の確認、企業訪問や中長期インターンシップの実施に向けた具体的な話を進めることも可能です。

2022年度参加企業・参加博士人材

第5回 13社

旭化成 小野薬品工業 亀田製菓 京セラ
 ポーラ化成工業 グローバルウェーブズ・ジャパン
 サントリーホールディングス 住友化学
 住友金属鉱山 住友ファーマ 東芝 東急建設
 トクヤマ

博士人材：23名

第6回 14社

アルビオン キリンホールディングス クラシエ製薬
 コニカミノルタ 昭和電工 武田薬品工業 TDSE
 データフォース 同仁医薬化工 ナミックス
 日産自動車 日清製粉グループ本社 日本入試センター
 みずほ第一フィナンシャルテクノロジー

博士人材：20名

interview



医歯学総合研究科
 博士後期課程2年(DC2)

池田 和泉

博士修了後の進路に不安を抱いている方、就職活動をどう進めていかわからない方にお勧めのイベントです。

普段、旭町キャンパスで研究活動を行っていることもあり、就職活動の流れがつかめておらず、修了後の進路に不安を抱いていました。そこで、就職活動の足掛かりとして本イベントに参加しました。

実際に参加してみると、企業の研究について深いところまでお話を聞くことができたり、博士学生のポスター発表で研究だけでなく人となりをプレゼンテーションしたりと、双方向がお互いをより深く知ることができるイベントだと感じました。また、意外な分野の企業から興味を持っていただき、自分自身の進路の選択の幅が広がりました。様々な研究分野の博士学生たちと情報交換ができたのもよかったです。

修了後について考えるきっかけに、ぜひ参加してみたいかがでしょうか。

interview



現代社会文化研究科
 博士後期課程1年(DC1)

大塚 純都

本イベントでは興味がある企業とじっくりと情報交換をし、学生と企業が対等な立場で意見を交わすことができました。互いの目標や夢を語り合えたことはかけがえない経験です。また本イベントを通して自分の研究や人間性を評価してもらえたことは、進路を決めるうえで大変参考になりました。産業界で博士課程の人材が求められる能力や資質がどうようなものなのかを知るだけでなく、自分の長所を知り、働き始めた後に社会の中で自分がどう活躍したいかについての明確なビジョンをつかむことできる良い機会であったように思います。ここで得られたものは、今後の研究活動だけに限らずこれからも私を支え続けてくれることでしょう。

最後に、これは本イベントの本筋とは離れるように思いますが、普段目にすることがない他分野の発表方法などを学べるのもリクルートフォーラムの魅力の1つだと感じました。全体を通して新しい発見や学びが絶えない有意義な時間を過ごせたと思います。

受講者の声

- 思ったよりも多くの企業の方に注目してもらえました。
- 知識よりも博士課程で生き抜く力（論理的思考・プレゼン力など）が必要とされていることに気づきました。
- 丸1日使ったプレゼンの応酬にも、気持ち良い疲れとともに達成感を感じながら臨めました。
- 多くの企業の方とお話ができて、貴重な機会でした。
- 市場やニーズの変化が激しい状況で、自分の分析の枠組みや考え方をどう生かすかを考えるべきだと感じました。
- 研究や自己PRへのフィードバック（もう少しここが聞きたかった等）も企業の方から頂けて、企業交流以上の学びがありました。

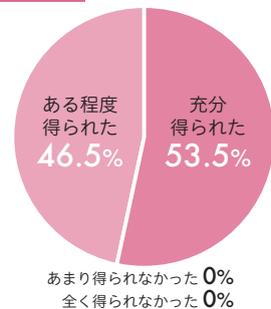
企業の声

- 企業への就職を検討する博士人材とコンタクトできる有用なイベントです。特に対面形式のできるので、会話がしやすく良かったです。
- 早期から博士人材と接触できるため、効果的だと思います。
- 博士人材の皆様には、これから専門分野で一流を目指すと共に、リーダーシップ、即戦力として活躍していただきたいです。
- 年々学生さんのコミュニケーション力が向上しているように感じました。
- 企業側も今のPhDの方々の考え方や将来像（どのような仕事や活躍をしていきたいのか）を知るいい機会となりました。双方にとって貴重なフォーラムだと思います。

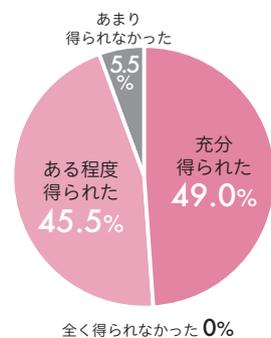
アンケート

Q. 有益な情報を収集できましたか？

学生



企業



企業研究サイトビジット

マッチングイベントでお目当ての、あるいは思わぬ企業から勧誘や研究所見学などの申し出を頂いた場合、その機会を逃す手はありません。見学だけでなく自身の研究内容などのプレゼンも可能な場合があります。直接企業を訪問すると、実際に勤務している多くの研究者や先輩方と話すことが可能です。企業研究サイトビジットを経て、インターンシップや採用につながった実績もあります。

1. 企業を直接訪問して業務の現場を見ることで働くイメージを獲得できる
2. 企業人への直接の研究プレゼンで自身の知識や研究能力を確認できる
3. 双方向情報交流を実施することでお互いの理解を深められる

2021年度は実施なし、2022年度は秋に実施し、本年度も実施予定です。



interview



自然科学研究科
博士後期課程
1年(DC1)

勝木 友洋

産業界の研究者はどんな活躍ができるのか、生の声を聞きたいと企業訪問に参加しました。参加の経緯としては、PhDリクルートフォーラム後に企業の方に声をかけていただいたことがきっかけです。訪問時には、工場見学のみならず研究発表の機会もありました。質疑応答の際には、企業研究者の方々と白熱した議論をさせていただき、産業界で活躍する研究者の熱意を感じました。

私は就職のしる字も知らない博士後期課程1年の学生です。しかし、企業訪問までの流れを通して感じたことは、博士学生の就活に“よ～いドン”は存在しないということです。修士課程とは異なり博士学生にはいつでもチャンスがあり、動き出すことに早すぎることは決してないと感じることができました。思い立ったが吉日ですね。

今回の訪問は1日でした。このご時世、直接訪問する機会を頂いたことに感謝しつつ、少し物足りなさを感じたのも正直なところです。マッチングイベント後の企業訪問、その先の中長期インターンにつながるといいなと思う経験でした。

mini column

博士課程これをやっておこう！ToDoリスト

進学後のこと、研究以外の生活、情報がほしいけど分からなくて不安…。

そんな悩みを解消するために、博士学生の実験に基づいたToDoリストをご紹介します！

☑ 奨学金情報をチェック！

新潟大学HPや自然研高度化センターHPなどで情報がまとめられています。もちろんこのパンフレット(p13)にも！経済的な不安から脱却しましょう！

☑ Reserchmapへの登録

学生であり、一人前の研究者でもあるのが博士課程学生。経歴や論文リスト、プロフィールを掲載し、研究活動を社会に知ってもらいましょう！

☑ 名刺の作成

学会参加や企業の方と共同研究をすすめる機会が生じたとき、スムーズに紹介や連絡先交換ができます。相手の情報をゲットする機会にも繋がります！

名刺交換の仕方は、ぜひ当室「ビジネスマナーセミナー」にて学んでいきましょう

☑ 出張・留学先でも使えるWi-Fi(Eduroam)の申請

研究のフィールドは日本・世界と広がっていきます。本学情報基盤センターにて登録後使用可能！

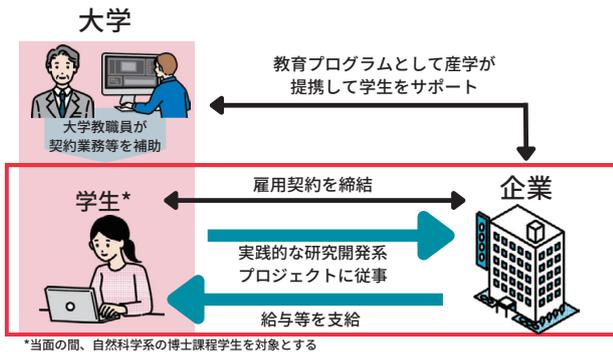
ToDoリストは
当室HPにて
随時更新中



ジョブ型研究インターンシップ

産業界のグローバル化に伴い、研究職などの採用がジョブ型へ徐々に移行しつつあることはご存じでしょうか。ジョブ型研究インターンシップは企業活動を実体験することで企業研究の実際を知り、その企業での働き方などを確認するためにも非常に有効な方法です。企業視点からも、優秀な博士人材に実際の業務を担当してもらうことで、その人物像、研究スキル、知識レベルなどを評価することができます。

企業の中に入り込んで体験できることは、企業の考え方としての「納期」や「コスト」、研究の「出口」の意識を体験し、自分のものとすることができます。



制度の特徴

1 長期・有給・ジョブ型のインターンシップ

2ヶ月以上

有給

ジョブ型
で選考・実施

2 正規の教育課程として実施



契約に関するサポート
単位認定 等



3 インターンシップ評価が採用・就職に活用される



評価書・評価証明書を発行



ジョブ型研究インターンシップ推進協会 案内用リーフレットより

新潟大学では、1ヶ月以上の参加で2単位を取得できます（無給）

コンソーシアム連携活動

博士人材育成はどの大学でも喫緊の課題として認識されています。これまでは各大学が個々の努力で解決を試みてきましたが、いくつかの大学がプログラムを共有し相互に支援しながら育成を試みる「科学技術人材育成のコンソーシアム構築事業」が2015年に開始されました。当初は北海道大学・名古屋大学・東北大学の三大学でしたが、大阪大学・お茶の水女子大学・横浜国立大学・兵庫県立大学・立命館大学・沖縄科学技術大学（OIST）・筑波大学・神戸大学・新潟大学・東京外国語大学が加わり、13大学で構成し取り組んでいます。参加大学は育成プログラムを共有しており、各大学に所属する大学院生はこれを相互利用することができます。

interview



現代社会文化研究科
博士後期課程
2年(DC2)

WANG Yifan

2022年の10月、北海道大学主催の赤い糸会に参加しました。準備は緊張して慌ただしく、少しのドキドキと PhD リクルート室の先生方の励ましを持って、北海道行きの飛行機に乗りました。

最初の会場は非常に厳粛でしたが、企業の代表の皆さんは自社の企業の営業状況やどのような人材が必要なのかを冗談交じりに話していました。自分はまだ資格がないかもしれないし、これらの企業にはさまざまな理工系の人材が必要なのかもしれないし、企業の代表と食事をしているときも、外国人の私は日本語で多くの疑問を受けていて、私の心は悲しくなりました。しかし、ポスターの発表を行ったとき、自分の最高の状態を出して、各方面の代表たちと自分の研究を紹介して、そして将来私が企業のどこで役に立つ可能性があるかを紹介できました。企業の代表たちも私の研究に好奇心を示して、励ましてくれて、本当に感謝しています。

次に、学生と企業の代表者たちと交流する時間では、演台でのキラキラした代表者たちとは違って見えました。対面で交流することで、本来は厳粛に見える代表者たちが親切であり、多くの企業も私にインターンシップに参加してほしいと言いました。みんなで話をしているうちに、終わる時間になりました。

今回のイベントに参加する前に、私は将来の自分の就職について迷い、自分の現在の能力でどこに行けるか分かりませんでした。今回のイベントに参加してから、私は自分の不足点を認識し、自分の就職に自信を持ってました。新しい友達もできて、今度一緒に北海道を旅行する約束をしました。また、北海道大学の

スタッフは本当に親切でフレンドリーで、お世話になりました。

この時思い出してみると、赤い糸はその名前と同じように、私と企業、研究者、スタッフとの様々な縁を表しています。私はこの経験をととても大切に感じています。次の機会があれば、私はやはり参加したいです。

博士支援制度

新潟大学フェローシップ支援事業

本学は、文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」の実施機関として採択されました。これを受けて、本学ではPhDリクルート室を主軸として令和3年度より本学フェローシップ制度を開設し、博士後期課程1年次生（医歯学分野では博士課程2年次生）に対し（毎年度14人を採用）、修了までの3年間研究専念支援金（生活費相当額）と研究費からなるフェローシップを支給するとともに、博士人材としてアカデミア・産業界双方を見据えた多様なキャリアパスが選択できるような育成プログラムを提供していきます。



未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト(次世代プロジェクト;SPRING)

本学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が公募した「次世代研究者挑戦的研究プログラム～博士後期課程学生の挑戦を支援する～」に採択されました。

本プロジェクトは、新たに大学の研究科や研究室など既存の枠組みを越えて優秀な博士後期課程学生の選抜等を行う事業統括を選定し、そのリーダーシップのもと、当該博士後期課程学生に対する様々な支援を実施・展開する大学の取り組みを国として支援するものです。

これを受けて、本学では副学長（大学院担当：本田明治）を事業統括とした、博士後期課程の全研究科（医学、歯学系の4年制の博士課程を含む）を対象に、優秀な学生を選抜し、経済的支援・研究費支援を行うとともに、様々なキャリアパス支援に向けた取り組みを行っていきます。これにより、多様な分野でイノベーションを創出する博士人材を育成することを目指します。

	新潟大学フェローシップ支援事業 (科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業)	未来のライフ・イノベーションを創出する フロントランナー育成プロジェクト (次世代研究者挑戦的研究プログラム)
目的	学生の革新性や国際性を高め、産官学の幅広い分野で活躍できる博士人材を育成する	学生の挑戦的・融合的な研究を推進し、多様な分野でイノベーションを創出できる博士人材を育成する
対象分野	未来健康科学 高度医療による健康未来福祉社会 革新的情報・AI データ駆動型超スマート社会	全分野
研究支援	当該分野の専門性の強化 英語論文作成支援 / 実践的データ分析講習等	異分野融合研究の推進 マルチラボシステム（学内短期留学制度）
特筆すべき支援内容・具体的な採用事例	アカデミア、産業界へのキャリア形成プログラム →産業界への理解を深め、ジェネリックスキル★を獲得 現代社会文化研究科（健康科学） 自然科学研究科（フィールド科学） 医歯学総合研究科（医学） 運動学 → 健康経営★ マネジメント力 気象学 → 統計スキル★ 企画・運営力 皮膚科学 → 分析力★ リーダーシップ	メンター制による協働研究支援 →研究への理解を深め、アカデミックスキル★を獲得 現代社会文化研究科（法学） 自然科学研究科（フィールド科学） 医歯学総合研究科（医学） 環境法 → 工学系★ パリ協定 省エネルギー 気象学 → 農業土木★ 砂防ダム 生活 → 人工知能★ 習慣病 ビックデータ
支援の体制や内容	ポイント! PhDリクルート室 企業視点の自己PRの方法・視点を獲得! 特長 独自のキャリア支援 産業界を中心とする社会の様々な場で活躍するため、研究力向上と キャリア支援のプログラム への参加が必須 ▶キャリア支援プログラムへの参加時期 支援期間内に各目で設定	ポイント! PhDリサーチサポート室 自身の専門分野から異分野への応用視点を獲得! 特長 マルチラボシステム 分野横断、融合、挑戦的研究を促進するため 新規ラボでの研究を推奨* *既に共同研究実施中のラボも可、適切なラボがない場合は学外も可 ▶学内留学先での研究従事期間 各学年で基本3か月以上

博士学生のキャリアパス形成を
PhDリクルート室+メンター教員がサポート！



PhDリサーチサポート室



PhDリクルート室
phdrecruit@gs.niigata-u.ac.jp

相談
協力

新潟大学
フェローシップ事務局
次世代研究者挑戦的研究プログラム事務局



相談



博士学生

- Q. 異分野融合研究の方法
- Q. キャリアプランの例
- Q. 研究と就職活動の両立 ...etc.

メンター教員

現代社会文化研究科



村山 敏夫



長尾 雅信



伊藤 龍史



豊田 光世

自然科学研究科



本田 明治



中馬 吉郎



関島 恒夫



安田 浩保

医歯学総合研究科



飯島 淳彦



寺尾 豊



井上 誠

mini column

その他の学内サポート

▶ 長期履修制度

事情により修学困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものです。長期履修を許可されれば、通常の修業年限で支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間内で均分して支払うことになります。

▶ 学生なんでも相談窓口

“どこに相談に行ったらいいのかわからない。”“至急相談したい。”“教員である学生相談員や学務委員等に直接相談しにくい。”という学生のために、学務部学生支援課に「学生なんでも相談窓口」(⑤番)があります。

大学院生間の交流促進

新潟大学院生会

大学院生が主体となって運営する「新潟大学院生会」。大学院生相互の理解と研究交流を深め、研究、生活等の向上を図ると共に、学問研究の発展の推進力となることを目的として活動しています。PhDリクルート室は院生会の皆様と連携し、大学院生の充実したキャンパスライフに向けた支援を行っています。「院生会」という名ですが、進学の情報を知りたい学部生の皆様のイベント参加もお待ちしております！ ※入会は大学院生のみ

Mitagata Univ. Graduate Students Community

新潟大学院生会

大学院生による・大学院生のための「第三のコミュニティ」！
イベント参加者+院生会員+運営メンバー毎年募集中！

2021年～活動、会員数は80人超！ ほぼ毎月イベント開催！ 卒業後のキャリアも考える キャンパスを越えていつでも交流 とにかく楽しくやる！

新潟大学院生会主催イベント

1 なんでもトーク交流会

学生間の交流を深めることを目的としたイベントです。参加者の興味・関心のあることをテーマに、研究生生活だけでは出会えない学生同士の交流の場を作ります。

〈これまでのテーマ〉

- 論文管理、どうしてる？
- みんなの推しツール ソフト編・ハード編
- 今の学部・学科を選んだ理由
- 研究室以外で参加しているコミュニティ

2 Lightning Talk

ライトニングトークとは、テーマに沿って「電光石火のごとく短い時間で」発表をするプレゼンスタイルのこと。3分間のプレゼン経験をする事で、研究や就活に必要な準備力・説明力を楽しく鍛えます！



3 研究発表会

2022年の開催テーマは「まだない視界を広げよう！」。研究をしている人もこれから始める人も、新しく何かを掴む・伝えることを目標に開催しました。教職員も含め、30名超が参加しました！

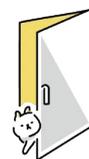


4 Python 講習会

大学院生に対する教育研究の充実と資質の向上を目的としたイベントです。講師の先生をお招きし、特に数理・データサイエンス（データ解析、機械学習など）に関わる講演・実践を通じ、研究に役立つ基礎知識の習得や応用力を身に付けます。参加者同士でオススメ参考書籍やツールをお勧めし合う交流も生まれています！

5 自由な学生交流！

オンラインツールを用いた朝活や、有志のランニング部で運動&マラソン大会参加など。学生たちの「やりたい！」に自由に取り組んでいます。イベント参加・入会、心よりお待ちしております！



入会フォームはこちら！



院生会イベント「なんでもトーク交流会」で出た意見を少しで紹介！

大学院生の情報収集力・発信力は高く、一つのテーマにもたくさん意見が集まります。
大学院生はもちろん、学部生の皆様も必見！

2022.6.20 なんでもトーク交流会 vol.4

テーマ② 論文管理、どうしてる？

月に何本読むのか／どう管理しているか／覚えているか？

- M1のときはあんまり読まなかった 卒研時に60本くらいローカルファイルに保存→メンデレー利用で快適に！
- 部分的にでも読んだものは12、3本（約3ヵ月）周りはもっと読んでいる…印刷して余白に概要を書いてしまう！データ管理はほぼなしノート作成（1本に1冊）、内容を把握→板書で発表
- デジタルで翻訳しながら読む→読もうと思ったら印刷反省点：デジタル（エクセルなど）で管理すべきだった！ソフトはややこしいのでエクセルで充分！
- 少なくとも月1本、修論時は70本近く読んだ 読んだものはだいたい覚えている

まとめると：

- 月1～4本ほど
- アナログ／デジタル派（ソフト）半々？
- 覚えていない方が多いかも読んだときのまとめ方が大事、面倒…

Q. 読んでまとめるのはノート？ ルーズリーフ？ Word？

- A1. ノート一択！手書きアナログ！
- A2. 読み込むのはノート。一部抜粋するのはルーズリーフや裏紙のときもあるかも
- A3. pptxにまとめるのが一番多い流れが分かりやすい（イントロ～ディスカッション）
- A4. pptx、発表に使うのでいきなり作り出す→ブラッシュアップ
- A5. A4ノートに最近書いてる、本当に大事なものは貼ったりもする
- A6. タブレットはデータ飛んじゃっていやだった～

院生会の学生に聞きました！

Q. 院生会に参加した理由は？

院生会で交流できると聞いて、自分も参加して交流の手伝いをしたいと思いました

とにかく友達
欲しかった！

大学院進学をきっかけに
新しいコミュニティに
参加したかった

研究室外の同級生と
会えるチャンスだと思った

Q. 参加してみてどうですか？

適度に息抜きをする時間の
大事さに気が付いた

もっとたくさん
の人に会いたい！
対面交流が楽しみ

他大学から編入したけど
友達できてよかった

気軽に研究相談できる
仲間が増えた
情報もゲットできるし！

■ 授業科目

【前期課程:課程共通科目】

No.	科目名	内容	単位	Gコード開講番号
1	修士のためのキャリアマネジメントセミナー	キャリアマネジメントセミナー	2	230F5301
2	修士のためのアカデミックライティング*	アカデミックライティング	2	230F2302

【後期課程:課程共通科目】

No.	科目名	内容	単位	Gコード開講番号
1	博士のためのキャリアマネジメントセミナー	キャリアマネジメントセミナー	2	230F5321
2	博士のキャリア開発の実践	PhD リクルートフォーラム	1	230F5322
		ジェネリックスキルセミナー		
		大学院生のためのキャリアセミナー		
		企業研究サイトビジット		
3	博士ジョブ型研究インターンシップ	インターンシップ(1ヶ月以上)	2	230F5323
4	博士のためのアカデミックライティング*	アカデミックライティング	2	230F5324

※詳細はシラバスをご覧ください。

*2023年度新規科目(2023年度は開講なし)

■ 2023年実施プログラム(予定)

○履修対象 ×履修対象外 △聴講可(単位取得不可)
☆単位取得要件についてはシラバスを参照

プログラム名	BC	MC	DC	PD
キャリアマネジメントセミナー	△	○	○	○
ジェネリックスキルセミナー	△	△	○	○
大学院生のためのキャリアセミナー	△	△	○	○
大学院生のためのアカデミックライティング	×	○	○	○
PhD リクルートフォーラム	×	×	○	○
企業研究サイトビジット	×	×	○	○
博士ジョブ型研究インターンシップ	×	×	○	○
博士ジョブ型研究インターンシップ体験報告会	△	△	△	△

※日程等の詳細はホームページでご確認ください。<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/>

スタッフ



PhDリクルート室長
副学長・自然科学系教授

本田 明治



担当教員
PhDリクルート室副室長
特任教授

弥富 洋子



担当教員
PhDリクルート室
特任助教

石田 悠貴



担当教員
PhDリクルート室
特任助教

當銘 香也乃



協力教員
人文社会科学系准教授

村山 敏夫



協力教員
歯学系教授

寺尾 豊



協力教員
自然科学系教授/
大学院自然科学研究科
副研究科長

飯島 淳彦



協力教員
大学院自然科学研究科附属
教育研究高度化センター

永井 直人

アクセス



■ 列車利用(JR越後線)

新潟駅～内野駅(所要時間25分)下車 徒歩で約15分
新潟駅～新潟大学前駅(所要時間22分)下車 徒歩で約20分

■ バス利用(新潟交通)

新潟駅～新潟大学西門(所要時間約45分)



連絡先

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050
新潟大学 総合教育研究棟 D204
TEL: 025-262-7217 (内線7217) FAX: 025-262-7217
E-mail: phdrecruit@gs.niigata-u.ac.jp URL: www.phd.niigata-u.ac.jp



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。